

平成 24 年度事業報告書

1 海外農業農村開発促進等補助事業 海外技術協力促進検討事業 官民連携技術協力促進検討調査

海外農業農村開発促進等事業 海外技術協力促進検討事業 官民連携技術協力促進検討調査を下記の通り、実施した。

(1) 官民連携技術協力促進検討調査

(ア) 現地調査

(a) 持続的地下水利用技術導入可能性検討調査

調査対象国	ブルキナファソ	
調査機関	平成 24 年 12 月 9 日～23 日 (現地 12 日間)	
調査対象機関	在ブルキナファソ日本大使館、JICA ブルキナファソ事務所 農業水利省水資源局、Projet Riz Pluvial(PRP)オフィス ブルキナファソ国大ダム会議事務所 (国際大ダム会議総裁 Dr. Adama NOMBRE)、 2iE (International Institute for Water and Environmental Engineering) (教育機関)	
調査団員	原田 幸治	ADCA 企画部長
	西牧 隆壯	東京農業大学 客員教授
	毛受 亨政	NTC インターナショナル株式会社 技術本部 特別顧問
	加藤 泉	株式会社三祐コンサルタンツ 海外事業本部 技術部第 1 部 参事
	久保 歩	ADCA 主任技師

調査概要

ブルキナファソ国の北部、中央地域、また稲作を含めた農業生産のポテンシャルの高い西部、南部地域において、地表水と地下水の相互補完的運用を通じた水資源の有効利用の観点から、現地調査を実施した。

(b) 自然再生エネルギー (小水力発電) を活用した農業農村開発への事業化検討調査

調査対象国	フィリピン	
調査機関	平成 25 年 1 月 20 日～29 日 (現地 10 日間)	
調査対象機関	在フィリピン日本大使館、JICA フィリピン事務所、国家灌漑庁、農業省	

調査団員	原田 幸治	ADCA 企画部長
	西牧 隆壯	東京農業大学 客員教授
	瀧本 裕士	石川県立大学 環境科学科 准教授
	久保 歩	ADCA 主任技師

調査概要

ルソン島中部、北部の国家灌漑庁管理下の灌漑施設を視察し、水路への小水力発電機器の設置・利用の可能性について実証調査を行った。また実際に、プロトタイプ発電機器を持参し、国家灌漑庁敷地内の湧水モニュメントにて、デモンストレーションを実施した。

(イ) 持続的水利用技術導入検討調査国内検討委員会の設置および委員会の開催

(a) 持続的地下水利用技術導入可能性検討調査

開発途上国における海外農業農村開発に関して、持続的地下水有効利用技術および地表水・地下水一体運用について、技術・手法に関する意見交換を行った。

第1回国内検討委員会	平成24年7月12日
第2回国内検討委員会	平成24年9月24日
第3回国内検討委員会	平成25年2月27日

国内検討委員会委員

委員長 西牧 隆壯	東京農業大学 客員教授
委員 今泉 眞之	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究所 農村工学研究所 資源循環工学研究領域長
委員 谷 茂	NTC インターナショナル株式会社 技術本部 技術部 顧問

(b) 自然再生エネルギー（小水力発電）を活用した農業農村開発への事業化検討調査

開発途上国における海外農業農村開発に関して、持続的水有効利用技術としての自然再生エネルギー活用について、技術・手法に関する意見交換を行った。

第1回国内検討委員会	平成24年8月23日
第2回国内検討委員会	平成25年1月15日
第3回国内検討委員会	平成25年3月15日

国内検討委員会委員

委員長 西牧 隆壯	東京農業大学 客員教授
委員 横山 隆一	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授
委員 瀧本 裕士	石川県立大学 環境科学科 准教授
委員 須郷 康史	日本工営株式会社 電力事業本部 福島事業所 副事業所長

(ウ) 持続的水利用技術に関する技術会議

開発途上国において、農業農村開発技術協力に従事する日本国の技術者等を対象に、開発援助プロジェクトを運営管理するためのPCM(Project Cycle Management)手法を用いた、農村における持続的水利用技術の確立の実現に向けた技術会議を開催した。会議に開催にあたり、現地での調査結果を踏まえ、課題の抽出・整理を行うとともに、会議後は課題に対する対応策、実施方針などを提案として取りまとめた。

第1回技術会議 (PCM手法 (モニタリング・評価) 研修)

日時 平成24年11月20日～22日
場所 農業土木会館 2階 会議室
受講者人数 9名

第2回技術会議 (PCM手法 (モニタリング・評価) 研修)

日時 平成25年3月11日～13日
場所 農業土木会館 2階 会議室
受講者人数 10名

(エ) その他技術の導入可能性調査

(a) 沖縄県伊是名島、宮古島 (現地調査)

日時 平成24年6月11日～13日
面会者 沖縄県伊是名島 村田 政義 村長
沖縄県伊是名村土地改良区 銘苺 正康 事務局長
島 淳 技師
内閣府 沖縄総合事務局 宮古伊良部農業水利事業所 大吾 光照 所長
神里 守 工事第一課長
出張者 東京農業大学 西牧 隆壯 客員教授
NTC コンサルタント株式会社 九州支社顧問 土本 明 熊本営業所長
ADCA 事務局 原田 幸治 企画部長
久保 歩 主任技師

調査内容

伊是名農業水利事業、宮古伊良部農業水利事業での地下ダムに関して、意見交換・現地視察を行い、ブルキナファソ国における地下ダムの導入可能性について検証した。

(b) 北海道大学

日時 平成24年6月15日
面会者 北海道大学大学院 工学研究院 環境創成工学部門 船水 尚行 教授
北海道大学 国際本部 松永 龍児 国際協力マネージャー
出張者 ADCA 事務局 原田 幸治 企画部長
久保 歩 主任技師

調査結果

北海道大学大学院がブルキナファソ国で実施している持続可能な水・衛生システム開発に関する研究事業について、情報収集・意見交換を行った。

2 国際農業問題検討等補助事業 紛争復興支援のための農民リーダー研修事業

国際農業問題検討等補助事業 紛争復興支援のための農民リーダー研修事業を下記のとおり、実施した。

研修期間 平成24年8月25日～9月14日(21日間)
研修生 アフガニスタン・イスラム共和国のミラブ(農民リーダー)8名
農業灌漑牧畜省の職員5名、合計13名

(1) 座学講義

日時 平成24年8月26日～30日、9月10日～14日
場所 財団法人海外産業人材育成協会(HIDA) 研修センター
内容 出身地の現状・課題の発表会
日本における水利組織の歴史
日本の灌漑事業の概要と課題
灌漑事業における水利組合の役割・組織化及びネットワークの構築
わが国の農林水産業協力
参加型灌漑事業
アクションプラン作成・発表

(2) 現地研修

日時 平成24年8月31日～9月8日
場所 宮城県大崎市、松島町など
研修先 東京都中央卸売市場 大田市場
大崎土地改良区、大崎水管理センター、JA古川カントリーエレベーター
優良農家(コメ、野菜)、葉菜山葵、県営圃場整備事業、大崎市役所、
やくらい土産・山の幸センター(直売所)、サンフレッシュ松島

(3) 表敬

日時 平成24年9月12日
表敬先 農林水産省、外務省、JICA
内容 アクションプランの発表、意見交換

3 海外農業開発調査基金

海外農業開発基金事業が下記のとおり行われた。

(1) プロジェクトファインディング調査

プロジェクトファインディング調査が下記のとおり実施された

調査件数 5件
 対象国数 2カ国
 派遣チーム数 4チーム

表 プロジェクトファインディング調査一覧

案件番号	国名	案件名	期間
1	ミャンマー	インレー湖周辺 油糧作物栽培・バイオマス燃料生産による環境保全・農村開発計画調査	4月27日～ 5月10日
2	ミャンマー	中央乾燥地生計向上にかかる既設貯水施設水源による灌漑可能地拡張のための情報収集・確認調査	5月28日～ 6月9日
3		南・北ナウイン灌漑地区基幹施設改修事業計画調査	
4	ミャンマー	ヤンゴン周辺既存灌漑用貯水池等における水資源ポテンシャル及び利用可能性調査	11月19日～ 12月1日
5	フィリピン	ミンダナオ地域バンサモロ農村総合開発計画調査	3月10日～ 16日

(2) 若手技術者等育成・支援事業

若手技術者等育成支援事業が下記のとおり実施された。

件数 5件
 対象国数 4件
 申請人数 4名

表 若手技術者育成・支援事業一覧

案件番号	国名	案件名	期間
1	インド	インド国ヒマーチャル・プラデシュ州 作物多様化推進プロジェクト（第2年次）	7月20日～ 9月2日
5			1月15日～ 3月15日
2	ペルー	カハマルカ州小規模農家生計向上プロジェクト（第2年次）	8月20日～ 11月17日
3	インドネシア	コメリン灌漑計画第Ⅱ期フェーズ2設計・監督	9月23日～ 12月21日
4	ブルンジ	ギテガ県における紛争影響地域の生活向上を目的としたコミュニティ開発	10月25日～ 12月23日

(3) セミナー開催事業

セミナー開催事業を下記のとおり実施した。

(ア) 平成24年度ADCA地方セミナー「途上国農村における生活向上への多様なアプローチ～Diverse Approaches for Improvement in Rural Livelihood～」

主旨

本セミナーでは、国際協力に従事するプレーヤーが様々なプレーヤーが存在する中、途上国において農業・農村開発に従事する本邦コンサルタントの立ち位置、活動実態を正しく社会に発信し、次世代のコンサルタントとなり得る学生たちに農業・農村開発コンサルタントの魅力、やりがいを伝えることを開催の趣旨として挙げている。また参加者に対して講演や協力事例報告、パネルディスカッションを通じて、世界における農業や食糧事情を提供し、我が国のODAにおける農業農村開発への理解を促進させることを目的に実施するものである。

日時 平成24年11月10日(土) 13:00～17:25
場所 九州大学 箱崎キャンパス 国際ホール

講演プログラム

開会挨拶 社団法人海外農業開発コンサルタント協会 副会長 久野 格彦
共催者挨拶 九州大学大学院 農学研究院 農学研究院長 吉村 淳
来賓挨拶 農林水産省 九州農政局 局次長 丸山 和彦

第1部 講演

基調講演

「フェアトレードで、人にも地球にも社会にも優しく美しく～途上国と先進国をつなげる新しいかたち～」

原田 さとみ (JICA 中部なごや地球ひろばオフィシャルサポーター)

講演

「途上国への教育・研究協力の可能性」

凌 祥之 (九州大学大学院 農学研究院 環境農学部門 教授)

第2部 現場からの報告

「タイ国における活動報告」

江口 敦俊 (株式会社三祐コンサルタント海外事業本部 企画推進部 企画推進課)

「国際農学と私の教育研究」

福田 信二 (九州大学大学院 農学研究院 助教)

「海外インターシップを経験して」

谷中 文哉 (愛媛大学)

第3部

パネルディスカッション

ファシリテータ 西牧 隆壯（東京農業大学 客員教授）

閉会挨拶 村岡 敬一（JICA 九州国際センター 所長）

（4） 研修事業

研修事業を下記のとおり、実施した。

（ア） 第1回PCM手法（計画・立案）研修

日時 平成24年6月20日～22日
場所 農業土木会館
モデレータ 花田 重義（株式会社 国際マネジメントシステム研究所）
受講者数 16名

（5） 情報収集及び講演会・勉強会等

情報収集および講演会・勉強会等を下記のとおり、開催した。

（ア） ADCA 講演会（計6回）

（a） 第1回ADCA講演会

日時 平成24年4月19日
場所 農業土木会館
題目 「包括的経済連携」「農林水産業協力の概要」
「ベトナム農業の課題と展望」
講師 角田 豊（農林水産省 大臣官房 審議官（国際））
狩俣 茂雄（関東農政局 局次長）
参加人数 28名

（b） 第2回ADCA講演会

日時 平成24年7月5日
場所 農業土木会館
題目 「農業農村開発の最近の動向」
講師 熊代 輝義（国際協力機構 農村開発部 部長）
参加人数 33名

（c） 第3回ADCA講演会

日時 平成24年10月17日
場所 農業土木会館
題目 「揚水発電を活用した再生可能エネルギー～欧州における現状と動向～」

講師 亀本 喬司 (横浜国立大学 名誉教授)
参加人数 20名

(d) 第4回 ADCA 講演会

日時 平成24年11月6日
場所 農業土木会館
題目 「太陽光発電システムの基礎知識」
講師 岩田 敏彦 (三菱電機エンジニアリング株式会社)
参加人数 20名

(e) 第5回 ADCA 講演会

日時 平成25年1月17日
場所 農業土木会館
題目 「東京農業大学における国際貢献」
講師 渡邊 文雄 (東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 教授)
参加人数 18名

(f) 第6回 ADCA 講演会

日時 平成25年3月7日
場所 農業土木会館
題目 「新たな開発援助としてのBOP水ビジネス」
講師 山田 雅雄 (中部大学 客員教授)
参加人数 21名

(イ) ADCA 青年会議勉強会 (計4回)

(a) 第1回 ADCA 青年会議勉強会

日時 平成24年7月30日
場所 農業土木会館
題目 「バイオエタノール製造実証事業について」
講師 森本 郁徳 (株式会社双日総合研究所 主任アナリスト)
参加人数 19名

(b) 第2回 ADCA 青年会議勉強会

日時 平成24年10月31日
場所 農業土木会館
題目 「海外農業農村開発における官民の役割」
講師 田中 宏 (農林水産省 農村振興局 海外土地改良技術室 課長補佐)

参加人数 15名

(c) 第3回 ADCA 青年会議勉強会

日時 平成24年12月3日
場所 農業土木会館
題目 「第1回 FAOSTAT 勉強会」
講師 今井 ちづる (社団法人国際農林業協働協会 FAO 寄託図書館 司書)
参加人数 8名

(d) 第4回 ADCA 青年会議勉強会

日時 平成25年2月20日
場所 農業土木会館
題目 「第2回 FAOSTAT 勉強会」
講師 今井 ちづる (社団法人国際農林業協働協会 FAO 寄託図書館 司書)
参加人数 8名

4 総会、理事会、運営委員会

総会、理事会ならびに運営委員会を下記のとおり、実施した。

(1) 第36回通常総会 (平成24年5月24日開催)

平成23年度収支決算、平成24年度収支予算案の承認、役員を選任など

(2) 第71回理事会 (平成24年5月24日開催)

平成23年度収支決算、平成23年度予算案の承認、会員および賛助会員の異動など

(3) 第72回理事会 (平成25年3月28日開催)

平成25年度収支予算案の承認

(4) 運営委員会など

(ア) 運営委員会 (6回開催)

(イ) 農林水産省海外土地改良技術室と運営委員との意見交換会 (6回開催)

5 JICA との情報共有

(1) 海外農業開発基金事業プロジェクトファイディング調査ならびに官民連携技術協力促進検討調査報告会

海外農業開発基金事業プロジェクトファイディング調査ならびに官民連携技術協力促進検討調査の報告会を下記のとおり実施した。

(ア) 第1回報告会

日時 平成24年6月29日
場所 JICA本部109-110会議室
報告案件数 5件

(イ) 第2回報告会

日時 平成24年7月26日
場所 JICA本部108会議室
報告案件数 4件

(2) JICA-コンサルタント勉強会

JICA-コンサルタント勉強会を下記の通り、実施した。

(ア) 第1回JICA-コンサルタント勉強会

日時 平成24年7月4日
場所 社団法人海外コンサルティング企業協会(ECFA) 7階会議室
議題

- プログラム化の具体的実施方法
- JICA3事業(技協、有償、無償)の一本化推進方法
- コンサルティング業界の活性化
- コンサルタントの見える化
- 国際協力への課題
- 行政事業レビュー結果
- 業務指示書の手引き

(イ) 第2回JICA-コンサルタント勉強会

日時 平成24年12月3日
場所 社団法人海外コンサルティング企業協会 7階会議室
議題

- 技術協力(技プロ)の戦略性と国益の強化(日本のソフトパワーの強化)
- コンサルタント業務海外受注動向と今後の発注動向
- JICAと業界が連携した人材リクルートの推進(業界の中途採用の支援等)
- 3事業一体化とプログラム化の拡充(アフリカ支援等)

(ウ) 第3回JICA-コンサルタント勉強会

日時 平成25年3月12日
場所 社団法人海外コンサルティング企業協会 7階会議室
議題

- ECFA提言(わが国ODA事業の戦略的展開に向けて)
- 国際協力人材の確保にかかる現状および今後に向けた課題、取組みについて

6 その他本会の目的を達成するための必要な事業

(1) 会員への海外農業開発協力に関わる広報活動

(ア) 広報誌の発刊（年3回：7月、10月、1月）

(イ) メールマガジンの配信（年6回：5月、7月、9月、11月、1月、3月）

(2) 派遣業務

(ア) アフガニスタン国農業灌漑牧畜省（MAIL）組織体制強化プロジェクト（CDIS）灌漑局支援 TOR 策定調査

対象国 アフガニスタン・イスラム共和国

出張期間 平成24年4月21日～5月2日

氏名／担当 原田 幸治（灌漑技術）

(イ) ケニア国小規模園芸農民組織強化・振興ユニットプロジェクト（小規模灌漑）

対象国 ケニア共和国

出張期間 平成24年10月22日～12月13日

氏名／担当 阿部 靖志（小規模灌漑）

(3) 受託業務

JICA 筑波国際センターより、下記の通り平成24年度集団研修事業を受託した。

研修コース名	期間	研修員数
「流域水管理にもとづくかんがい排水」	平成24年4月1日～平成24年9月24日 平成25年2月19日～平成25年3月31日	10人
「農業農村インフラの運営管理の改善」	平成24年4月1日～平成24年5月21日 平成25年1月18日～平成25年3月31日	15人
「中央アジア・コーサカス地域水利組合振興」	平成24年6月25日～平成25年3月15日	9人